



把手セット(プッシュグリップ)

取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しく下さい。
※商品により、シリンダー形状、オーナーキーの有無は異なる場合があります。

■梱包明細

※取付け前に必ず梱包内容をご確認ください。

■把手セット

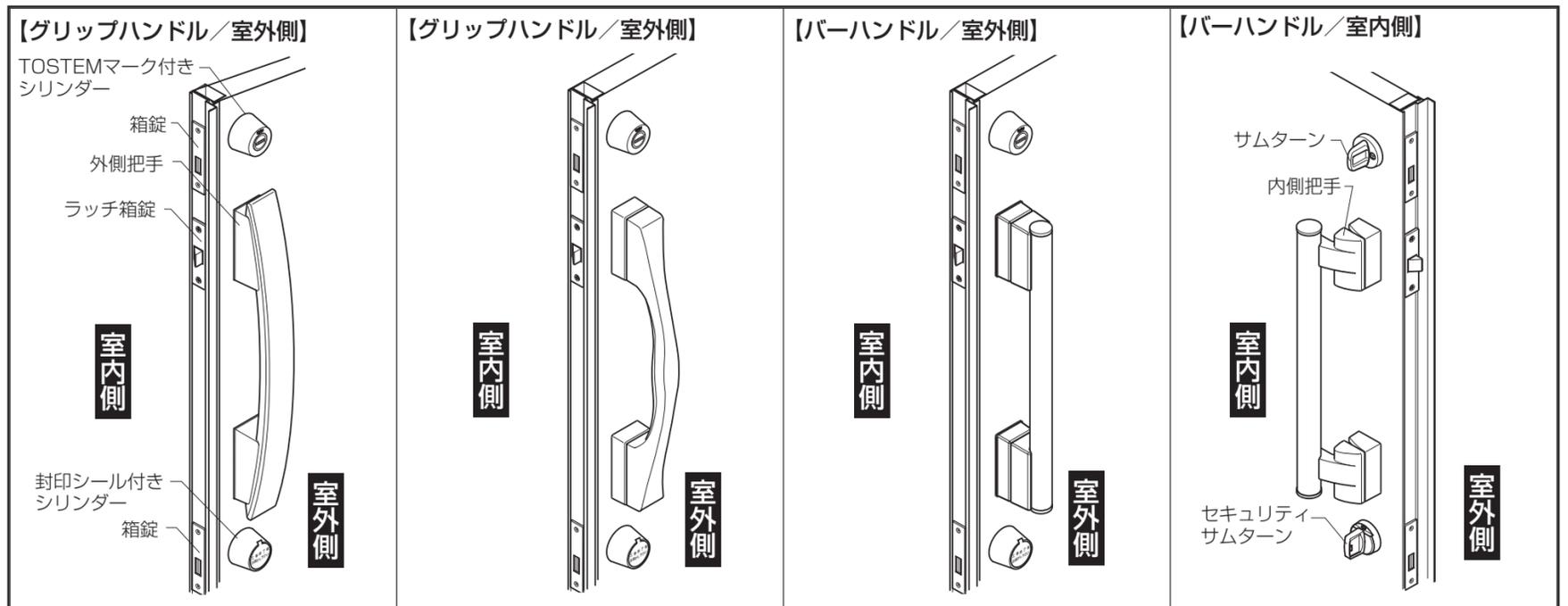
名称	入数	詳細
外側把手	1 個	_____
内側把手	1 個	_____
把手取付け部品	1セット	内側台座カバー／2個、皿小ねじM5×25／4本
箱錠セット	1セット	箱錠／2個、ラッチ箱錠／1個、皿小ねじM4×16／6本(鋼板ドア用)、皿タッピンねじφ4×12／6本(アルミドア用)
シリンダーセット(別途手配)	1セット	シリンダー／2個、オーナーキー／1本、子鍵／4本、工事用キー(コンストラクションキー)／3本
サムターン・セキュリティサムターンセット*1	1セット	サムターン／1個、トラス小ねじM5×45／2本(頭部塗装付き)、セキュリティサムターン／1個、サムターンキー／2本、サムターン座／1個、トラス小ねじM5×45／2本(頭部塗装なし)
取付け説明書	1 枚	_____
お施主さま用取扱い説明書	1 冊	袋入り

*1 エントリーシステムの場合は、「サムターン・セキュリティサムターンセット」は梱包されません。別途手配品エントリーセットに電動サムターンが梱包されています。
防火戸シリーズの場合、セキュリティサムターンセットが2セットになります。
ドア厚 60mm 用の場合、トラス小ねじの長さが M5 × 65 になります。

■固定把手セット

名称	入数	詳細
外側把手	1 個	_____
内側把手	1 個	_____
把手取付け部品	1セット	内側台座カバー／2個、皿小ねじM5×25／4本

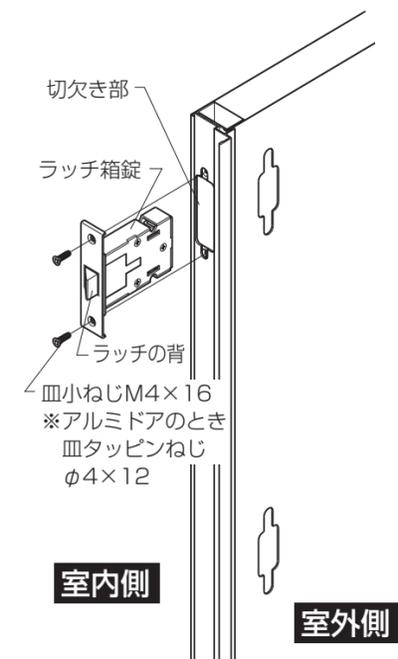
■取付け完成図



■取付け順序

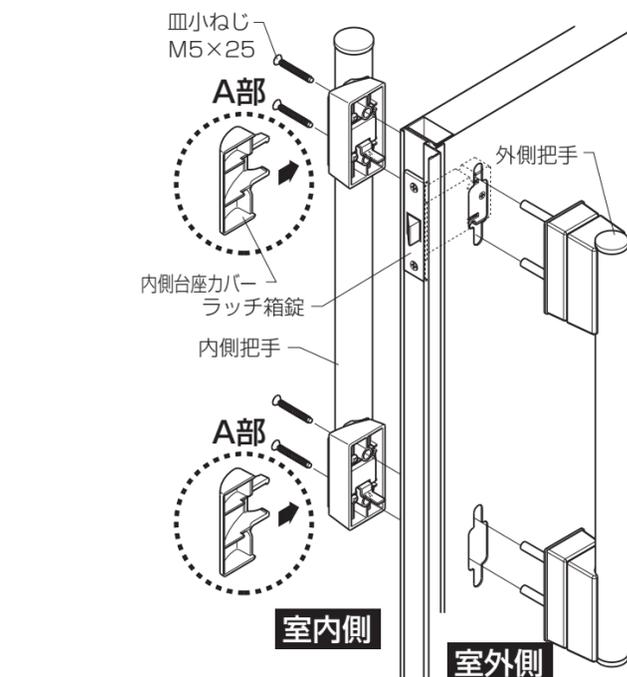
1 ラッチ箱錠の取付け

●ラッチの背を室外側に向け、皿小ねじでラッチ箱錠を取付けます。(アルミドアのとき皿タッピンねじ)

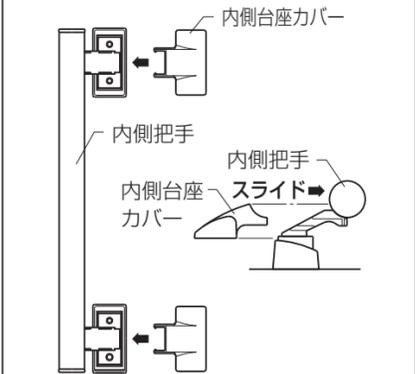


2 把手の取付け

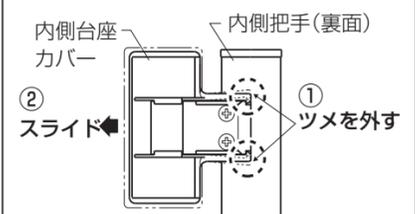
①外側把手を室外側から差込みます。
②内側把手を皿小ねじで固定します。
③内側台座カバーを内側把手セットに取付けます。
※両開き子扉には、上記①・②・③の手順で固定把手を取付けます。



■内側台座カバーの取付け方 (A部詳細図)



■内側台座カバーの外し方



3 箱錠の取付け

① ドア上部の切欠き部に、ダブル鎌デッド箱錠を皿小ねじ(アルミドアのとき皿タップピンねじ)で取付けます。

※側面の矢印に従い、上下を確認して取付けてください。(下図「箱錠の取付け向き」参照)

※商品により、鎌箱錠を使用する場合があります。

② ドア下部の切欠き部に、鎌箱錠を皿小ねじ(アルミドアのとき皿タップピンねじ)で取付けます。

※鎌箱錠は「TOSTEMマーク」を上にして取付けてください。(下図「箱錠の取付け向き」参照)

4 上部シリンダー、サムターンの取付け

① TOSTEMマーク付きシリンダーのTOSTEMマークを上に向けます。

② TOSTEMマーク付きシリンダーの出っ張り(4カ所)を、ダブル鎌デッド箱錠(上部箱錠)の角穴に合わせて差込みます。

③ サムターンをトラス小ねじでTOSTEMマーク付きシリンダーに取付けます。

※防火戸シリーズの場合、上下共にセキュリティサムターンを取付けてください。(5参照)

5 下部シリンダー、サムターンの取付け

① 封印シール付きシリンダーの上面シールを上に向けます。

※上面シールがない場合は、シリンダーカバーの切欠きを下に向けてください。(下図「シリンダーの取付け向き」参照)

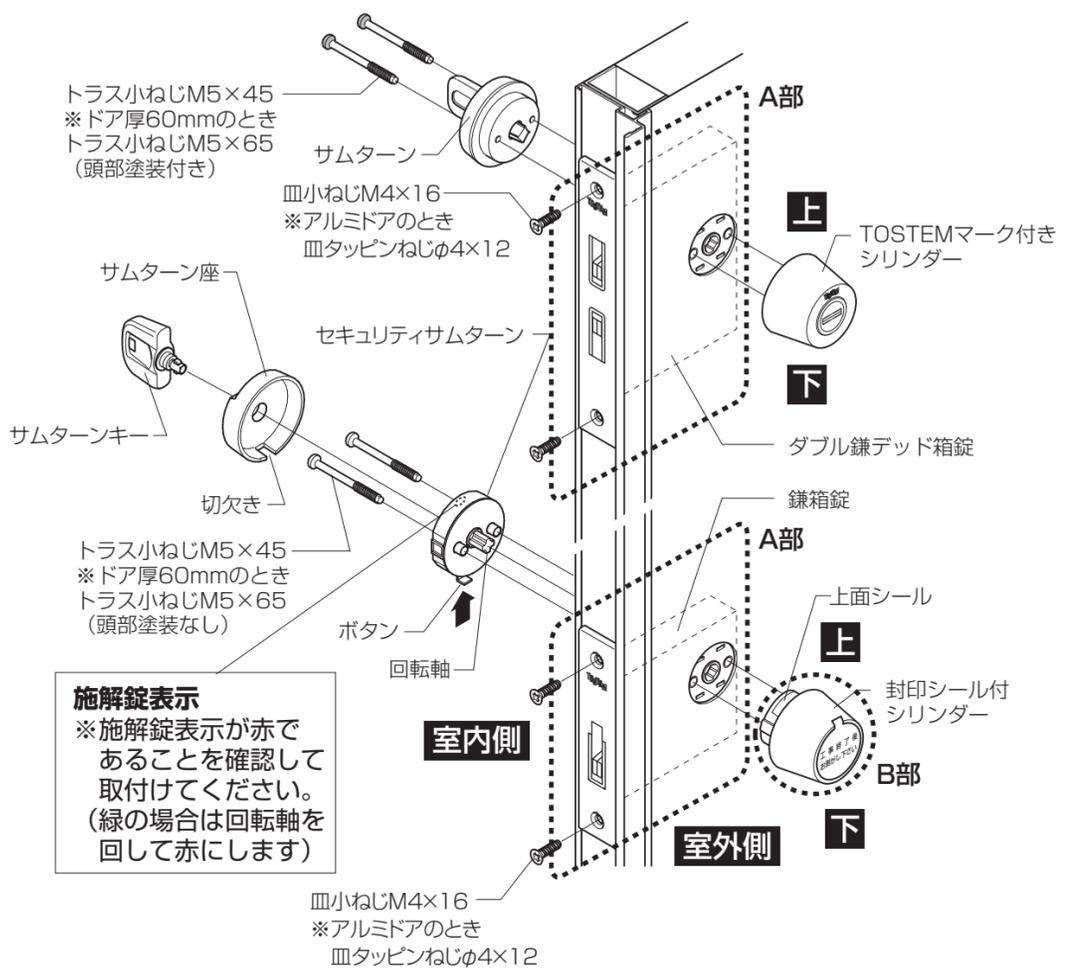
② 封印シール付きシリンダーの出っ張り(4カ所)を鎌箱錠(下部箱錠)の角穴に合わせて差込みます。

③ セキュリティサムターンのボタンを下に向け、トラス小ねじで封印シール付きシリンダーに取付けます。

④ サムターン座の切欠きを、セキュリティサムターンのボタンの向きに合わせてはめ込みます。

⑤ ボタンを上を押しながら、サムターンキーを差込みます。(ボタンが戻るとサムターンキーは抜けなくなります。)

※電動サムターンの取付け方法は、エントリーセットに同梱の取付け説明書をご参照ください。

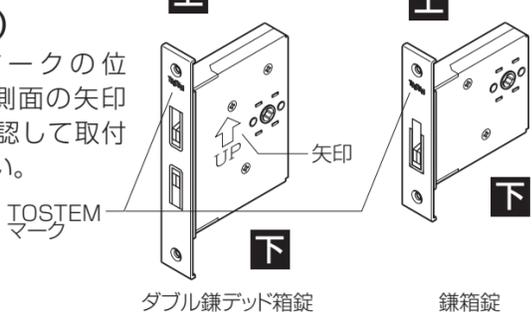


施錠表示
 ※施錠表示が赤であることを確認して取付けてください。(緑の場合は回転軸を回して赤にします)

■箱錠の取付け向き

(A部詳細図)

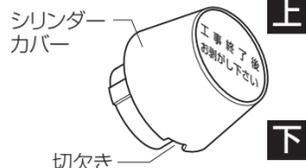
※TOSTEMマークの位置、または側面の矢印で上下を確認して取付けてください。



■シリンダーの取付け向き

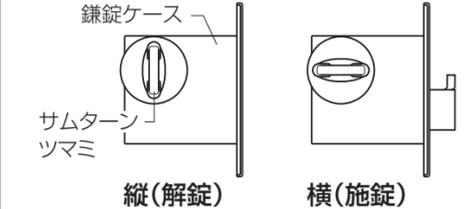
(B部詳細図)

※上面シールが張られていない場合は、シリンダーカバーの切欠きを下に向けて取付けてください。



■サムターンツマミの操作

※サムターンツマミは縦にして取付けてください。



※セキュリティサムターンは施錠表示が、解錠時「赤」、施錠時「緑」になります。

【高防犯箱錠の場合】

■高防犯箱錠は、ドア下部の切欠き部に取り付けます。

① 高防犯箱錠を皿小ねじ(アルミドアのとき皿タップピンねじ)で取付けます。

② 高防犯シリンダーの上面シールを上に向けます。

③ 高防犯シリンダーの出っ張り(2カ所)を高防犯箱錠の角穴に合わせて差込み、固定ピン(2本)で固定します。

④ セキュリティサムターンを高防犯箱錠の角穴に合わせて差込み、固定ピン(2本)で固定します。

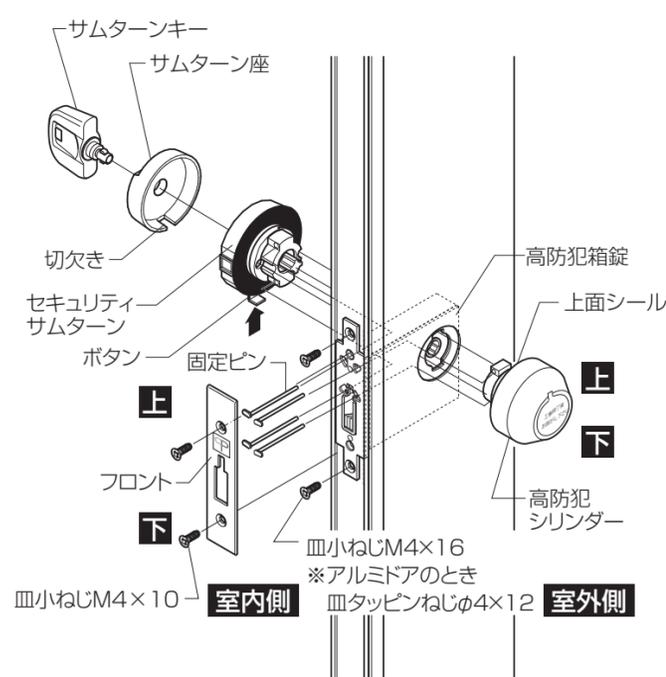
⑤ サムターン座の切欠きを、セキュリティサムターンのボタンの向きに合わせてはめ込みます。

⑥ ボタンを上を押しながら、サムターンキーを差込みます。(ボタンが戻るとサムターンキーは抜けなくなります。)

⑦ 高防犯箱錠に皿小ねじでフロントを取付けます。

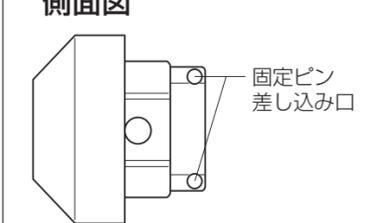
※固定ピンは頭がケース上面と同じになるまで差込んでください。

※固定ピンをスムーズに挿入できない場合は、ハンマー等で軽くたたき込んでください。その際、サッシ等を傷つけないように注意してください。



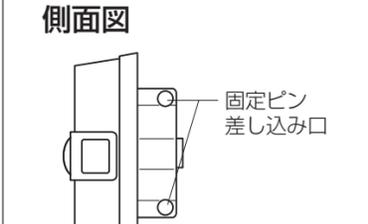
■高防犯シリンダー

側面図



■セキュリティサムターン

側面図



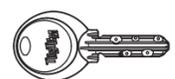
■コンストラクション装置について

● 封印シールが張られていないシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以後はお施主さま専用キーでなければ開閉できません。

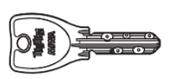
● 封印シールが張られているシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれていません。



コンストラクションキー (工事専用)



オーナーキー (お施主さま専用)



子鍵 (お施主さま専用)